

# 令和5年度 広島市 英語教育改善プラン

## 目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、聞くことや話すことの言語活動を中心としたコミュニケーションの基礎を育成することを目指す。

### 1. 現状

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

		年度	2020	2021	2022
小学校	設定	目標値	50.0%	75.0%	100%
		達成値		98.6%	100% (+1.4%)
	公表	目標値	50.0%	75.0%	100%
		達成値		60.3%	96.6% (+36.2%)
	把握	目標値	50.0%	75.0%	100%
		達成値		84.4%	95.7% (+11.3%)

○ 全項目において、前年度より増加しており、設定においては、目標値100%を達成した。

#### ② 言語活動が設定された授業づくり

	R 3	R 4
授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている。	62.5%	71.5% (+9%)
授業中、50%以上～75%未満の時間、言語活動を行っている。	34.8%	27.8% (-7%)
合計	97.3%	99.3% (+2%)

○ 授業中の言語活動が占める割合が高まっている。

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の公表及び達成状況の把握の状況

△ 公表・把握においては向上しているが、目標値(100%)に達していない。

#### ② 外国人とのコミュニケーションを図る意欲

「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。」  
(令和4年度広島県児童生徒学習意識等調査 より)

よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
35.6%	32.7%	21.8%	9.9%

△ 約3割の児童が外国人とコミュニケーションを図ることに抵抗がある。

### 2. 分析

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

○ 小中7年間を見通した「CAN-DOリスト」を作成するよう周知したことにより、小中連携の取組の一つとして「CAN-DOリスト」を設定する学校が増加した。

○ 英語教育研究指定校が作成した「CAN-DOリスト」のモデルを英語専科指導教員に共有したことで「CAN-DOリスト」活用のイメージをもつことができた教員が増加した。

#### ② 言語活動が設定された授業づくり

○ 英語専科指導教員研修の中で、言語活動を通じた指導の効果的な事例を動画で共有したことにより、言語活動を充実させた授業づくりについて、イメージをもつことができ、実践する教員が増加した。

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の公表及び達成状況の把握の状況

△ 公表・把握の捉えが学校によって違い、設定で留まり、「CAN-DOリスト」をうまく活用できていない。

#### ② 外国人とのコミュニケーションを図る意欲 「外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいです。」

△ 外国人と触れ合う機会が少なく、外国人とコミュニケーションを図ることにイメージをもてない児童がいる。

△ 自分が話す英語が外国人に伝わるのか不安を抱く児童がいる。

### 3. 施策・事業

#### ①・②・①・②【教員研修】

○ 英語専科指導教員を対象にした研修を年3回実施する。

第1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校外国語科の基礎・基本                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領の理解</li> <li>・ 英語専科教員としての心掛け</li> </ul> </li> <li>○ 外国語科授業づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書、指導者用デジタルブックの使い方</li> <li>・ 評価の見直し(学習到達目標「CAN-DOリスト」)作成についての使い方</li> <li>・ 授業モデル紹介(言語活動を充実させた授業づくり・ALTの活用法など)</li> </ul> </li> </ul>
第2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせた言語活動の指導の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求められる言語活動</li> <li>・ 指導に生かす学習評価の在り方</li> </ul> </li> </ul>
第3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 効果的な言語活動が設定された授業づくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善の視点の確認</li> <li>○ 学習指導の振り返りと改善計画                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの成果と課題</li> <li>・ 改善計画の作成、交流</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

○ 実践交流や好事例の情報提供を随時行えるよう、google classroomのアカウントを全ての英語専科指導教員に配付し、活用するよう周知する。

#### ②・②【小学校英語専科(新規採用者の英語力を有する人材確保)】

○ 本市においては、平成27年から教員採用候補者選考試験一般選考について、表の通り一定の基準に満たした志願者を対象に、第一次選考試験における筆記試験の得点に加点を行い、英語力を有する優秀な人材の確保に向けた取組を進めている。

○ 今後も、教員採用選考試験説明会等において、加点制度を周知し、志願者の積極的な英語に係る資格の取得促進に取り組むこととしている。

校種・職種・教科	基準				加点
	TOEFL(iBT)	TOEIC(L&R)	IELTS	英検	
小学校教諭	80以上	730以上	6.5以上	準1級	20点
	65以上	600以上	5.5以上	—	10点
	55以上	550以上	5.0以上	2級	5点

#### ②【英語指導助手(ALT)】

○ 中学校に配置されるALTを年間複数回、同一校区内のすべての小学校に派遣し、児童が外国人と触れ合う機会を設ける。ALTの勤務日は、終日小学校に派遣し、授業以外の休憩時間や給食時間等も全校児童がALTに関わるができるよう、校長会や英語専科指導教員の研修等で周知する。

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

# 令和5年度 広島市 英語教育改善プラン

## 目標

自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材の育成  
 「CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる生徒数」60%以上

### 1. 現状

- ① 「CAN-DOリスト形式」による学習到達度目標の設定・公表・達成状況の把握の状況

中学校	年度	2020	2021	2022
		目標値	100%	100%
設定	達成値	100%	100.0%	100.0%
	目標値	100%	100%	100%
公表	達成値	100%	100.0%	100.0%
	目標値	100%	100%	100%
把握	達成値	100%	100%	100%
	目標値	100%	100.0%	100.0%

- 全項目において、目標値100%を達成した。

- ② 英語教育に関する小中連携の実施状況

実施した(する)	実施しなかった(しない)
63校 (98.4%)	1校 (1.6%)

※実施しなかった1校は、広島中等教育学校(前期課程)

- ③ パフォーマンステストの状況(スピーキング)

	第1学年	第2学年	第3学年
スピーキングテスト実施校	64校 (100%)	64校 (100%)	64校 (100%)

- スピーキングテストの年間実施回数の平均は4.6回であり、目標とする4回を上回った。また、スピーキングテストを実施している学校は、100%である。

- ① 求められる英語力を有している、あるいは有すると思われる生徒の割合

中学校	年度	2020	2021	2022
		目標値	53.0%	60.0%
	達成値	53.0%	54.0%	54.4%

△ 54.4% (昨年度比+0.4)であり、目標とする60%を下回った。

- ② パフォーマンステストの状況(ライティング)

	第1学年	第2学年	第3学年
ライティングテスト実施校	60校 (93.7%)	62校 (96.9%)	62校 (96.9%)

△ ライティングテストの年間回数の平均は3.0回であり、目標とする4回を下回った。また、ライティングテストを実施していない学校は、平均して4.2%である。

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

### 2. 分析

- ① 「CAN-DOリスト形式」による学習到達度目標の設定・公表・達成状況の把握の状況

- 生徒の英語力向上に向け、学習到達目標及び年間指導計画に基づいた指導方法・評価方法の工夫・改善に努めるよう周知している。
- 作成した「『CAN-DOリスト』」の形での学習到達目標」等を授業等で共有したり、ホームページ等で公表したりするなどして、生徒、保護者等へ周知することについても各学校に通知した。

- ② 英語教育に関する小中連携の実施状況

- 令和2年度より、学力向上推進事業での「小・中連携教育研究会」において、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりができるよう、教員の指導力の向上を図るため、「英語研究チーム」を必置することとしている。

- ③ パフォーマンステストの状況(スピーキング)

- 「話すこと」に関する指導と評価については、英語教育研究指定校における研究成果が普及してきている。

- ① 求められる英語力を有している、あるいは有すると思われる生徒の割合

△ 年間を通して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定した言語活動が計画的に行われていない状況がある。また、教員の「CEFR A1 レベル相当」への認識が曖昧であり、評価基準の設定が妥当でない等、指導の改善に繋がっていない。

- ② パフォーマンステストの状況(ライティング)

△ パフォーマンステスト(定期試験含む)での「書くこと」に係る問題において、語彙、語法、文法知識のみを問うようなものに偏っている。

### 3. 施策・事業

- ①・② 【学力向上推進事業(小・中連携教育研究会)】

- 中学校区において、外国語活動・外国語科 小・中7年間を通した「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標の作成及び見直しを行う。
- 中学校に配置される英語指導助手(ALT)を年間複数回、同一校区内のすべての小学校に派遣し、児童が外国人と触れ合う機会を設ける。英語指導助手(ALT)の勤務日は、終日小学校に派遣し、授業以外の休憩時間や給食時間等も全校児童が英語指導助手(ALT)に関わることができるよう、校長会等で周知する。

- ③ 【学力向上推進事業(英語教育の充実)】

- 英語教育リーディング校(研究指定校)における「話すこと」に関する指導と評価の更なる充実に向けて、引き続き、実践研究を推進し、その成果を全ての中学校に普及する。

#### 令和5年度広島市英語教育リーディング校(研究指定校)

英語教育特別研究校	広島市立大塚中学校
英語教育実践研究校	広島市立早稲田中学校
	広島市立仁保中学校
	広島市立伴中学校

- ① 【英語指導助手(ALT)活用研修】

- 本市教育センターと連携し、言語活動を取り入れた授業づくりへの理解を深めるとともに、英語指導助手(ALT)を効果的に活用した実践的指導力を高めるための研修を実施する。

回	内 容
第1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指すべき生徒の英語力についての理解</li> <li>・言語活動の理解と英語指導助手(ALT)を活用した授業づくり</li> <li>・英語指導助手(ALT)との授業・評価計画の作成</li> </ul>
第2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に係る実践の交流</li> <li>・全生徒を対象として実施する英検IBAの結果の分析(CEFR A1レベル相当の力の把握)</li> <li>・振り返りと改善計画の作成</li> </ul>

- ② 【教員の自主研修で活用できる資料の作成・提示】

- パフォーマンステスト(定期試験含む)での「書くこと」に係る問題の質的改善に向けて、自己研修資料(実践事例等)を作成・提示し、英語担当教員に周知する。
- ライディングテスト未実施校を訪問し、「書くこと」に関する授業視察等を行い、指導や評価について指導助言を行う。

# 令和5年度 広島市 英語教育改善プラン

## 目標

自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材の育成  
**「CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」70%以上**

### 1. 現状

改善が進んだ点

未だ改善が必要な点

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

年度	2020	2021	2022
設定	達成値	100%	100%
	目標値	100%	100%
公表	達成値	100%	100%
	目標値	100%	100%
把握	達成値	70.0%	85.0%
	目標値	100%	100%

○ 全項目において、目標値100%を達成した。

#### ② パフォーマンステストの状況（コ英Ⅱ）

指標内容	年度	2022
達成値	2.1回	

○ コミュニケーション英語Ⅱのスピーキングテストの年間実施回数平均が2.1回であり、目標2.0回を上回った。

#### ① 求められる英語力（CEFR A2レベル以上）を有している、あるいは有すると思われる生徒の割合

年度	2020	2021	2022
達成値	65.2%	65.6%	

△ 求められる英語力を有している、あるいは有すると思われる生徒の割合は65.6%であり、目標とする70%を下回った。

#### ② パフォーマンステストの状況（コ英Ⅲ）

指標内容	年度	2022
達成値	0.8回	

△ コミュニケーション英語Ⅲのスピーキングテストの年間実施回数平均が0.8回であり、目標2.0回を下回った。

### 2. 分析

#### ① 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況

○ 生徒の英語力向上に向け、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標及び年間指導計画に基づいた指導方法・評価方法の工夫・改善に努めるよう周知している。

#### ② パフォーマンステストの状況（コ英Ⅱ）

○ 英語教育研究校における「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標やスピーキングテストについての実践研究の成果が普及してきている。

#### ① 求められる英語力（CEFR A2レベル以上）を有している、あるいは有すると思われる生徒の割合

△ 授業中、50%以上の時間、生徒が言語活動を行っている学校の割合が、目標の100%に対して86.2%であり、授業中の生徒の言語活動時間を十分に確保することができていない。

#### ② パフォーマンステストの状況

△ 進学を意識した学年においては、「話すこと」を評価する回数が十分に確保されていない。また、学校間における実施回数にばらつきが見られる。

### 3. 施策・事業

#### ① 【「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標に係る取組の改善】

○ 生徒の英語力向上に向け、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標及び年間指導計画に基づいた指導方法・評価方法の工夫・改善に努めるよう周知するとともに、各高等学校の「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標と実施しているパフォーマンステストが効果的に結びついているかを見直すよう指導・助言する。

#### ①・②・①・② 【英語教育の充実】

○ 中等教育学校英語教育研究校において、授業における生徒の言語活動やパフォーマンステストについての実践研究を推進し、その成果を公開研究会等を通じて、市立高等学校の全英語担当教員に引き続き普及する。また、教員研修や学校訪問等の場で、英語担当教員に対し、効果的なパフォーマンステストの実施について指導・助言する。

#### ②・①・② 【英語指導助手（ALT）活用研修】

○ 本市教育センターと連携し、言語活動を取り入れた授業づくりへの理解を深めるとともに、英語指導助手（ALT）を効果的に活用した実践的指導力を高めるための研修を実施する。

回	内 容
第1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指すべき生徒の英語力についての理解</li> <li>・ 言語活動の理解と英語指導助手(ALT)を活用した授業づくり</li> <li>・ 英語指導助手(ALT)との授業・評価計画の作成</li> </ul>
第2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語活動に係る実践の交流</li> <li>・ パフォーマンステスト等の結果の分析（CEFR A2レベル相当の力の把握）</li> <li>・ 振り返りと改善計画の作成</li> </ul>

# 広島市英語教育リーディング校における取組

令和5年3月  
指導第一課  
指導第二課

	英語授業の充実		英語を使う場の多様化			学習支援	効果検証
	ALTを活用した取組	授業づくり	体験活動等のイベントの実施	環境整備	ICT機器の活用		
<p>育成する 資質・能力</p>							
<p>小学校</p> <p>身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、内容を整理しながら、自分の考えや気持ちを伝えることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異文化理解学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「目的や場面、状況」のある言語活動の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語絵本の読み聞かせ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員による学校全体の取組としての実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>English Roomの効果的な活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>英語書籍の設置</li> <li>掲示物の工夫</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校との英語での交流会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>英語での学校紹介等の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材の活用</li> </ul>	<p>インタビューテスト 児童アンケート</p>
<p>中学校</p> <p>具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、自分(たち)の考えや気持ちを伝えることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの背景を生かした授業づくり</li> <li>ALTとのTT授業づくり(打ち合わせ)モデルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「目的や場面、状況」のある言語活動の設定</li> <li>話すこと(やり取り・発表)の指導モデルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>E-Campの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>英語でcooking</li> <li>日本伝統遊びの紹介等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>English Roomの効果的な活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>英語書籍の設置</li> <li>英語ゲーム等の作成、設置</li> <li>放課後留学の実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校との英語での交流会の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後留学での学校紹介等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教材の活用</li> </ul>	<p>インタビューテスト 標準学力調査 生徒アンケート</p>
<p>高等学校・中等教育学校</p> <p>日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを的確に捉え、適切に伝えることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTを活用したパフォーマンスの評価モデルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「目的や場面、状況」のある話すこと(やり取り)の指導モデルの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生の受け入れ、交流</li> <li>姉妹校との連携、交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LL教室等の効果的な活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>英語書籍の設置</li> <li>放課後留学の実施</li> <li>留学情報の発信</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校との英語での交流会の実施</li> <li>海外生徒との共同学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン英会話の実施</li> <li>デジタル教材の活用</li> </ul>	<p>インタビューテスト 生徒アンケート</p>
<p>教育委員会</p>	<p>研究推進に係る指導助言 広島市英語教育推進協議会の設置・運営</p>						<p>効果検証に基づく施策の見直し</p>
	<p>小学校へのALT配置</p>	<p>先行事例の紹介</p>	<p>E-Camp等の支援</p>	<p>消耗品費の支援</p>	<p>校種間の調整</p>	<p>先行事例の紹介</p>	